

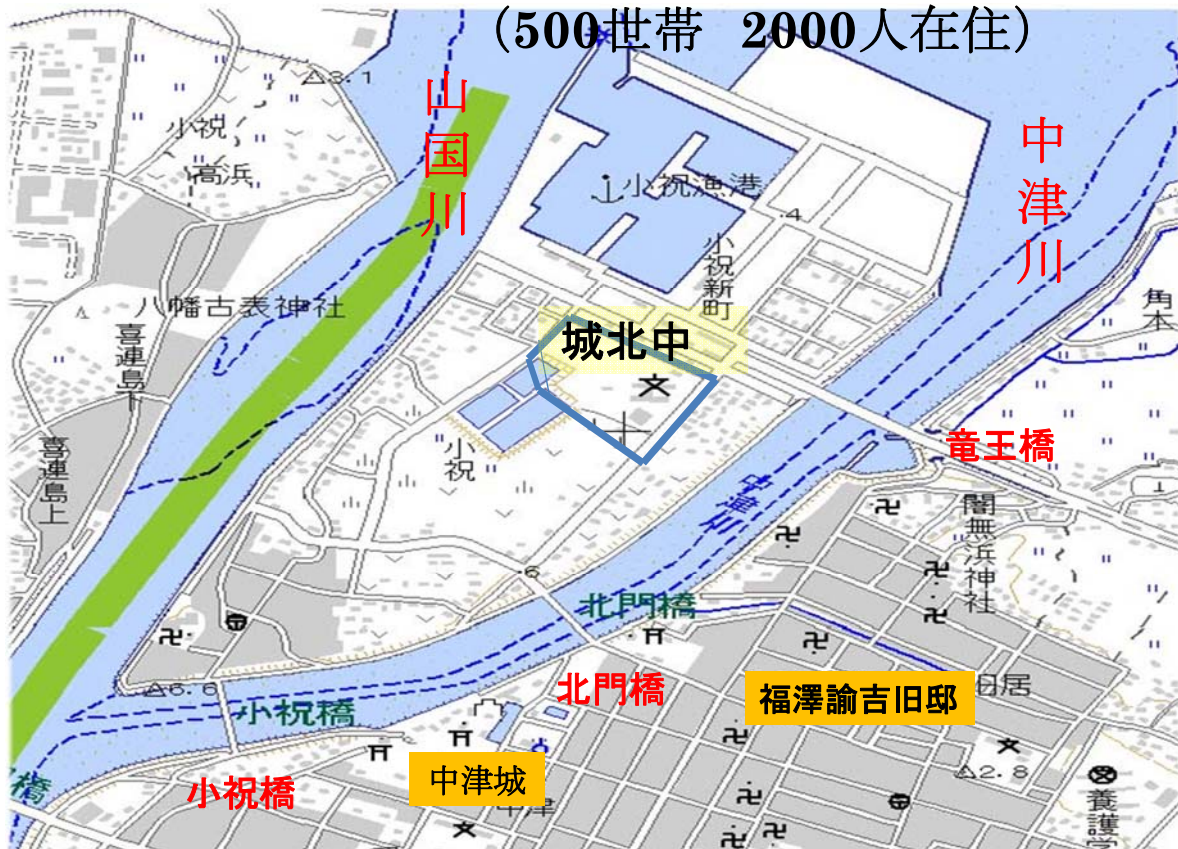
# 2014年度 防災教育チャレンジプラン 〈最終報告〉

## 大分県中津市立城北中学校 「自分の命は自分で守る」防災教育



### 城北中学校のある小祝地区

(500世帯 2000人在住)



# 城北中学校(全校274名)

## ● 北校舎「落成」(平成26年1月8日)

「津波発生時の一次避難場所」= 地区で唯一の鉄筋3階

- ・3階に避難場所としてのスペース(500名)
- ・2階屋上(300名)、3階屋上(500名)

屋外階段(休校時でも地区住民が避難可能)



## 1 プランの目的

「生涯にわたって自然災害と向き合い、



共に生きていく力をもった人づくり」としての防災教育

- ① 職員の防災意識の高揚
- ② 生徒の防災への備えや「自分の命は自分で守る」という主体的な考えの育成
- ③ 3年間を1サイクルとしての系統立てたカリキュラムの構築
- ④ 本校が地域・家庭の防災教育拠点となる

## 2 プランの概要

2012・2013年度より、実践

- (1) 講演会・防災宣言の取り組み
- (2) 避難訓練の実施(年6回)
- (3) 全領域における関連教科での取り組み
- (4) 校内安全点検・安全マップづくり
- (5) 教職員研修(DIG:災害図上訓練)
- (6) 保護者との連携

2014年度チャレンジ



- ・イベント 1 7/6(日) 親子で防災学習
- ・イベント 2 11/5(水) 地区住民との訓練
- ・イベント 3 12/13(土) 総合防災学習

	生徒			教職員	保護者	地域住民
	総合学習	避難訓練	講話			
4月		避難訓練①				
5月	1時間					
6月	2時間	避難訓練②		研修①		
7月	3時間		講話①		講話①	
<b>イベント 1</b>	<b>7月6日(日) 日曜学校公開日(親子で防災学習)</b>					
8月				研修②	実践委員会①	
9月	2時間					
10月	3時間	避難訓練③				
11月	3時間	避難訓練④	講話②			避難訓練④
<b>イベント 2</b>	<b>11月5日(水) 地域住民と避難訓練・防災学習 講話</b>					
12月	2時間	避難訓練⑤	講話③	実践委員会②	避難訓練⑤	
<b>イベント 3</b>	<b>12月13日(土) 総合防災学習(保護者・地域) 講話</b>					
1月	2時間					
2月	2時間	避難訓練⑥			実践委員会③	



### 3 実践の概要

#### (1) 講演会・防災宣言の取り組み

- ① 職員研修（防災アドバイザー、DIG）
- ② 生徒防災講話（防災アドバイザー、社会福祉協議会、地域歴史家）
- ③ PTA・地域住民講演会（防災アドバイザー、地域歴史家）
- ④ 講演会后、感想および各クラスごとに防災宣言プレート作成



学校安全研修会



実技「要援護者の支援」



生徒・住民「講話」

#### (2) 避難訓練の実施（年6回）

- ① 地震の1次避難から2・3次避難訓練（想定を変え、年間3回）
- ② 昼休みにおける抜き打ち地震緊急避難訓練
- ③ 地震から火災発生（スモーク）時の避難訓練
- ④ 11/5「津波防災の日」 生徒・地域住民避難訓練

1次避難



スモーク体験



2次避難



3次避難



## (3) 全領域における関連教科での取り組み

### 【数学】

九州北部豪雨の時の水位変化を知ることで、  
防災に対する意識が高められた。

(教科のねらい：色々な事象の中で関数関係  
であることを知る)



### 【保健体育】

① AED 救急救命法 (2年生)

② 着衣泳体験 (3年生)



心臓マッサージ



AED使用法



## 総合的な学習の時間 (年間20時間) 「系統立てたカリキュラムの完成」

### 1年生「自助」

自分自信の身を守り、被害を最小限にするためにできることを考え、実現する。

「災害の種類」「災害のメカニズム」「救助器具の使い方と初期消火」「簡易耐震診断」「緊急地震速報」「ハザードマップ」「防災かるた」「クロスロード」「防災宣言」等

### 2学年「公助」

災害時に対応する公的機関の働きや役割、情報通信網などについて理解を深める

ともに、災害発生時に自分にできることについて考え、実践する。「防災施設見学」「災害時伝言ダイヤル」「応急手当」「心肺蘇生法」「AED」「家庭での防災」

「防災宣言」等

### 3学年「共助」

地域の防災について、その役割を知り、中学生としてできることを考え、地域の一員としての責任を自覚し、実践する。

「地域防災マップ」「避難所での生活」「ボランティア活動への参加」「地域防災訓練への参加」「DIG」「防災宣言」「HUG」等

## (4) 校内安全点検・安全マップづくり

日常生活の中で、「もし災害がおこったら」という視点で、生活する学校の危険箇所等を知る、一次被害の防止を中心に生徒自らの手で点検を行う。安全確保・避難経路の確保のための防災マップづくりをすることで災害に備えるとともに、将来に向けて防災意識の向上が図られた。

点検(課題) → 情報収集 → 整理・分析 → まとめ(表現・発



## (5) 教職員研修・・・DIG

職員を4グループに分け、地震・津波災害時の避難経路の確認や地域の弱み・強みについて特徴を出し合い図上避難訓練を実施。



## (6) 保護者との連携

- ① PTA講演会 12/13  
講師 関西大学 城下英行先生



- ② PTA研修視察 11/6 **PTA講演会**  
PTA役員16名が「福岡防災センター」で研修

- ③ 緊急時の対策  
(1) 緊急時の生徒の安全確保についてのプリント作成  
(2) 生徒引き渡しカード作成 **引き渡し訓練**  
12/13 引き渡し訓練の実施  
(3) メール配信システムでの連絡(91%)  
(4) 災害伝言ダイヤルの説明会





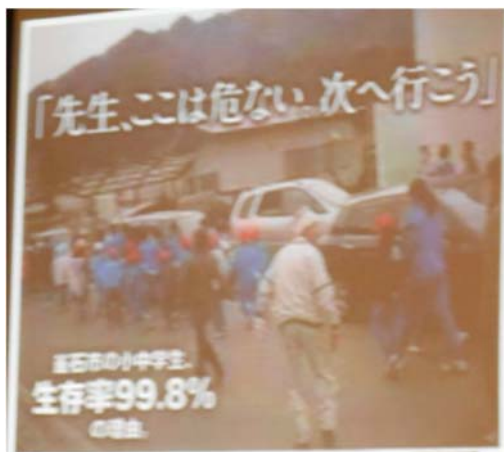
## イベント1 7/6 日曜学校公開日

### 「親子で防災学習」

(1) 防災講話 演題「命を守る防災教育」

講師 木ノ下勝矢氏(レスキューサポート九州)

参加者 全校生徒・教職員、保護者65名



### イベント1 「親子で防災学習」

1年生 「非常事態発生！そのときどうする！」



キッチンで調理中、ブロック屏に囲まれた路地、大型ショッピングセンターで買い物中等、地震発生時にどういう行動をとればよいか、7つのケースについてシュミレーションする授業。

## イベント1 「親子で防災学習」

### 2年生 「クロスロード・どちらを選ぶ！」



「問題です。未曾有の大地震により、町のあちこちで火災発生。気がつくとも隣の家でも火災発生、我が家にも燃え移りつつある。そこに消防車のサイレンの音が近づいている。あなたは、消火のために消防車を止めますか。」

二者択一の問題にYes/Noで判断しながら、防災を他人事ではなく、我が事として考える授業。

## イベント1 「親子で防災学習」

### 3年生 「防災マップを作ろう」



地図上で自分の家に赤シールをはり、津波予想の線を青ペン、避難場所に緑シール、幹線道路・鉄道に茶色ペン、河川を黄色ペン、危険個所に赤ペンと、防災マップを完成させていく。

作業を通して、地域の防災のウィークポイントを知り、被災状況をイメージし、災害を身近に考える授業。



## イベント2 11/5 津波防災の日

### 「地域住民と避難訓練」 住民80名参加

- 10:00 MCA無線屋外拡声器より、緊急地震速報・大津波警報  
10:10 訓練参加者は、城北中学校(北校舎3階)へ避難を開始  
10:50 避難完了



### 11:00 防災講話 (生徒と住民で)

講師 高倉 清さん(郷土歴史家)

「郷土における災害の歴史」



## イベント3 12/13(土) 1日学校公開日

### 「総合防災学習の日」 保護者・住民141名参加

- ・1限目 避難訓練、「みんなが主役になる防災」講話
- ・2限目 1・2年生 授業「防災学習」  
3年生 講話「避難所運営について」
- ・3限目 1年生 実技「救命・消防」  
2年生 講話「自助・公助」  
3年生 授業「防災学習」・防災宣言製作  
地域住民・保護者 講話「家庭における防災対策」
- ・4限目 1・2年生 授業「防災宣言製作」  
3年生 ボランティアおにぎり
- ・5限目 保護者への引き渡し訓練  
親子で通学区を歩き、ハザードマップ作り

## イベント3 1年生 「総合防災学習」の日

ハザードマップ



スモーク体験



簡易担架作り



水消火器体験



## イベント3 2年生 「総合防災学習」の日

講話「自助・公助」



家具転倒の危険



引き渡し訓練



防災宣言





# イベント3 3年生「総合防災学習」の日

講話「避難所運営」



授業「避難所」



親子で炊飯



おにぎり作り



8月20日  
第1回防災教育実践委員会



防災教育実践委員会 (年間3回)



## 第1回「防災教育実践委員会」(16名) 8/20(水)

	役職	所属		役職	所属
1	委員長	防災教育アドバイザー 関西大学社会安全学部准教授	8	委員	南部公民館 運営委員
2	副委員長	中津市総務部 総務課長	9	委員	北部小学校 校長
3	委員	中津市消防署 署長	10	委員	南部小学校 校長
4	委員	中津市社会福祉協議会 地域福祉係	11	委員	南部地区ネットワーク 「ぼけっと」
5	委員	中津市教育委員会 学校教育課	12	委員	城北中学校 PTA会長
6	委員	グループホーム「小祝」 防災管理者	13	委員 委員 委員 委員	城北中学校 校長 教頭 教務主任 防災教育担当
7	委員	小祝本町 自治員	14		
			15		
			16		

## 4 成果として

- ・教職員は、研修会や講話により指導助言を受けたことにより、防災管理・組織的活動のあり方や防災教育の進め方について理解を深め、防災意識の高揚が図られた。
- ・全領域における防災学習の実践、防災講演会、避難訓練等の取り組みを通じて生徒の防災への備えの重要性や「自分の命は自分で守る」という主体的な考え方が育成できた。
- ・大規模災害に備え「自助」「公助」「共助」を各学年のテーマとし、三年間を1サイクルとして系統立てた防災教育が実施できる。(総合的な学習で)
- ・学校、家庭、地域、関係機関等がともに防災について考える場となった。

## 5 反省・感想・課題

- ・職員が教務主任・防災担当者を中心に組織体としてプランを遂行できた。この同僚性の構築が、本校生徒の学力・体力向上の教育実践につながるエネルギーとなれた。
- ・この3年間の防災教育の実践を、今後は学習を通して学んだことで、もっと自分たちの地域の防災や町づくり、福祉の推進に関わらせていきたい。
- ・災害ボランティア活動に関する理解を深め、安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高めるための指導のあり方を模索する必要がある。

## 福澤諭吉旧邸

### 独立自尊是修身

心身の独立を全うし、自らその身を尊重して  
人たるの品位を辱めざるもの、  
これを独立自尊の人という。





# 大分県中津市立城北中学校 「自分の命は自分で守る」防災教育



「ご静聴ありがとうございました。」